

令和 7 年 4 月 2 8 日

京都タクシー業務センター

令和 6 年度 事業報告（京都駅八条口タクシー待機場）について

京都駅八条口タクシー待機場の管理に関する協定書第 5 条に基づき、下記のとおり報告いたします。

1 施設概要

名 称	京都駅八条口タクシー待機場
所 在 地	京都市南区西九条院町 9 番地の 2
設 置 年 月	平成 2 8 年 4 月
利用料金制度	有
設 置 根 拠	京都駅八条口旅客自動車待機場等条例
設 置 目 的	京都駅八条口の周辺の道路における安全かつ円滑な交通の確保を目的に、旅客を運送する事業の用に供される自動車を待機させ、旅客自動車を利用する旅客の乗車又は待合の用に供するため
施設の概要	敷地面積：770 m ² ・タクシー待機場 ・関連施設（タクシー乗り場、タクシー降り場、予約・大型タクシー乗り場、第 2 タクシー待機場） ・タクシー配車システム設備

2 指定管理者

名 称	京都タクシー業務センター
所 在 地	京都市伏見区竹田向代町 5 1 番地の 5 京都自動車会館 2 階
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

3 業務運営状況

（1）事業概要

① 施設の管理運営

- ・京都駅八条口タクシー待機場及び関連施設の管理・運営
- ・京都駅八条口タクシー待機場の入構登録を行ったタクシー車両（普通車運賃）の IC タグの管理
- ・京都駅八条口タクシー待機場のゲート設備の運営管理
- ・旅客及びタクシー車両の入構状況を勘案した、適切な運営
- ・利用料金の徴収及び収受

② 事業実施

- ・法人車両（４２社）１２１９台、個人組合車両９２８台、非組合所属個人車両２３台を登録（令和７年３月現在）
- ・５９万５８６７台が課金時間内に入構（目標値の１１６．６％）

③ サービス提供状況

- ・令和５年１０月１日から、のりばの滞留対策として、監視員のほかに滞留対策要員を１名配置しており２名体制でのりば運営に当たっている。（全日午前９時から１７時まで）
- ・タクシー待機場の利用登録事務及び料金收受業務に対応するため、正職員４名と定時雇用職員２名を配置

④ 市内中小企業への発注に対する考え方

- ・タクシー待機場の管理人及び第２タクシー待機場の清掃人を市内中小企業に発注

（２） 施設の利用状況

① 課金時間内入構数

年 度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
目 標 値	511,000 台	511,000 台	511,000 台	511,000 台
実 績 値	313,308 台	507,363 台	568,083 台	595,867 台
対前年度比	—	161.9%	112.0%	104.9%
目標達成度	61.3%	99.3%	111.2%	116.6%

② 全時間帯入庫数

年 度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
目 標 値	584,000 台	584,000 台	584,000 台	584,000 台
実 績 値	332,838 台	541,227 台	604,191 台	629,176 台
対前年度比	—	162.6%	111.6%	104.1%
目標達成度	57.0%	92.7%	103.5%	107.7%

(3) 指定管理業務の収支状況

① 収入状況

(円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
委 託 料	4,988,650	—	4,831,200	9,636,000
利 用 料 金	6,266,160	10,147,260	11,361,660	11,917,340
雑 収 入	44,606	0	0	0
収 入 計	11,299,416	10,147,260	16,192,860	21,553,340
対前年度比	—	89.8%	159.6%	133.1%

② 支出状況

(円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人 件 費	579,559	477,624	494,334	520,482
事 業 費	1,965,835	1,620,517	1,698,381	652,593
委 託 費	6,806,084	6,348,232	13,685,066	19,521,600
小額修繕費	0	163,350	613,800	595,100
支 出 計	9,351,478	8,609,723	16,491,581	21,289,775
対前年度比	—	92.1%	191.5%	129.1%

③ 収支

(円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 支	1,947,938	1,537,537	△298,721	263,565

4 施設利用者の満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- ・利用者からの苦情・要望を随時受け付けている。

(2) 利用者満足度把握の結果

<要望>

- ・海外旅客はホテル名や住所で行先を提示してくるが、京都の住所は筋と通りで表現しているので、確認するのに時間がかかる。
- ・監視員を2名体制にしてくれたのはありがたいが、17時以降に監視員がいなくなった後に混乱が生じる。監視員の配置時間を工夫して夕方以降も配置して欲しい。
- ・海外旅客の荷物が多く対応できないケースもある。荷物量の制限をしてほしい。トランク利用料金を設定したい。

(3) 意見等への対応状況

- ・のりば監視員1名に加え、新たに滞留対策係員を1名配置して、2名体制としたうえで実験的に17時以降の配置も試行した。しかし、オペレーション上の課題等も見られたため、今後の実施については検討が必要である。
- ・乗合バスとは違いタクシーは旅客が貸し切るものであり、トランクも旅客が独占的に利用できる設備であるため、手回り品の扱いに際し、二重の料金を設定することは適

切ではない旨、近畿運輸局から指導を受けていることから、トランク利用料金の設定は現実的ではない。

5 業務評価

(1) 指定管理者（自己評価）

- ・昨年に引き続きインバウンド旅行者を中心に入浴者が増加しており、非常に多くの旅客が新幹線出口に近い京都駅八条口タクシーのりばを利用している。
- ・滞留対策係員を配置するなど複数名でのりばの整理にあたるとともに、音声ガイダンス等の導入やのりば案内看板や路面標示の更新など、利用者が多い時期・時間帯においてもスムーズに乗車いただくよう努めた。また、直入モードを基本とし、駅前待機場へタクシー車両が入庫しやすい状況をつくることで、タクシーのりばへの車両の供給が途切れることがないよう努めた。これらの取組により、需要が増加した中でも安定したのりば運営を行うことができた。
- ・一方、課題としては、滞在長期化に伴うインバウンド旅客の荷物量の増加、多言語による行先確認や宿泊施設の増加もあり、乗車及び出発に時間がかかる。そのような状況下でも前述の対策の効果もあり、本年度はコロナ禍前の繁忙期実績である約 2,400 台/日には及ばないものの 2,349 台/日（令和 6 年 11 月 22 日）とほぼ同水準の対応がきている。
- ・指定管理者として施設の状況は常に把握できるように努めており、インバウンド旅客増加により、午前中（チェックアウト時刻）ののりばの混雑などにも対応できる体制を構築している。さらに、春/秋の繁忙期には八条通り南側の貸切バス臨時降車場を利用した臨時タクシーのりばを設置するなど、利用者利便性の向上に努めている。